

地域づくり推進研修

「SDGsを地域で実践するためのヒント集」

SDGsの認知度は高まっていますが、具体的な取り組みをしている団体は限られているとともに、他団体の実践を知る機会が少なく、授業の単元との絡め方が難しいと感じる場面が多くあります。本講座では具体的な事例紹介やゲームを通して実践とのつなげ方を学ぶとともに、県内で活動をしている方とつながる機会を作りました。(受講者数 39名)

〈研修内容〉

- 講演 演題 「SDGsと個人のウェルビーイング」
講師 信州大学農学部 JICA草の根技術協力事業
サブプロジェクトマネージャー 佐藤 利春 氏
- 事例発表 演題「私たちも辰野町の仲間 ～SDGsを柱にした生徒会活動を通して～」
講師 辰野高校生徒会の皆さん
- 演習 演題 「『SDGs de 地方創生』から地域の未来図を考えよう」
ファシリテーター 小牧 学 氏



受講者アンケートから

- 「見えていないもの」に目を向ける、心を寄せることを大切にしていきたいです。そこに課題をもって、自分で追究してみることで、視野が広がり、生徒と一緒にもっと深く考えることができるのではないかと思います。ありがとうございました。(学校教職員)
- いろいろな活動をつなげ、世界と足元をつなげる視点をいただいた。(学校教職員)
- 辰野高校の皆さんの活動は素晴らしいと思いました。自分のため、仲間のため、地域のために、積極的に行動する姿から、たくさん学ばせていただきました。自分から行動することの大切さ…私もできることがたくさんありそうです。「地域の一員となれる高校生」は、自分から考え、行動できる力が備わっており、どこにいても活躍できるのではないかと思います。ありがとうございました。(学校教職員)
- SDGsというと現在は環境のことにのみとらわれがちだが、社会全体に関わるということがよくわかった。(市町村職員)
- 楽しく会場で一体感が得られるワークショップでした。(企業)
- 探究の授業でさっそく利用していきたい。生徒に対する声掛けの質が変わる。(学校教職員)
- 楽しく学ぶことができそう。市の事業に生かせそう。各ブースの話も聞けてパンフももらえて良かった。(市町村職員)